

「平成30年三重県議会の活動10大ニュース」にかかる県民投票の 実施について

三重県議会では、平成19年から毎年「三重県議会の活動10大ニュース」を発表しています。この選定にあたっては、県議会の取組状況を広く発信し、県議会への関心を高めたいという趣旨とあわせ、県民の方自身が投票することによって、県議会への参加意識も高めていただくという観点から、平成23年からは県民投票を実施しています。

今年の県民投票の実施については下記のとおりです。

記

1 投票期間 11月22日（木）から12月6日（木）まで

2 投票方法

県議会ホームページのトップページからご案内する投票フォームを開き、10大ニュースの候補(自由記載を含め19項目)のうちから最大10項目にチェックを入れ、送信することで投票できます。

3 10大ニュース候補（概要は別紙のとおり）

【開かれた議会運営の実現】

- ① 「みえ現場 de 県議会～観光・交流の推進～」を開催（1月）
- ② 県議会新体制の発足（議長、副議長、正副委員長等の選出）（5月）
- ③ 「みえ高校生県議会」を開催（8月）
- ④ 議会中継への手話通訳導入（10月）
- ⑤ 「みえ県議会出前講座」実施要領の見直し等を開始（10月）
- ⑥ 「みえ現場 de 県議会～ダイバーシティ社会の推進～」を開催（11月）

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- ⑦ 「平成30年版成果レポート」に関し知事に申し入れ（8月）

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- ⑧ 議会改革推進会議総会に議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討結果を報告（3月）
- ⑨ 障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例（議員提出条例）の制定（6月）
- ⑩ 大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を盛り込む議会基本条例（議員提出条例）の改正（6月）
- ⑪ 「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置し、検討を開始（6月）

- ⑫ 「若者と政治」、「スポーツによる地域振興」、「議会改革」、「災害時における議会の役割等」をテーマにした「議員勉強会」を開催（1月、3月、10月、12月）

【分権時代を切り開く交流・連携の推進】

- ⑬ 紀伊半島三県議会交流会議を熊野市で開催（7月）

【議員報酬、政務活動費及び選挙など】

- ⑭ 議員の定数（45人→51人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の可決（3月）
- ⑮ 政務活動費を減額（4月）
- ⑯ 「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討を開始（7月）
- ⑰ 議員の定数（51人→45人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の否決（9月）

【その他】

- ⑱ 公共政策大学院からインターンシップ実習生を受入れ（9月）
- ⑲ 上記以外であなたがお薦めの取り組み（自由記載）

4 10大ニュースの決定・発表

同時期に実施する「県議会傍聴者」「e-モニター」「県議会議員」による投票結果も参考に、正副議長により決定し、12月の議長定例記者会見で発表します。

〈参 考〉

平成29年三重県議会の活動10大ニュース

【開かれた議会運営の実現】

- 議長定例記者会見における手話通訳の導入（2月）
- 議会中継への手話通訳導入の方針を決定（9月）

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 「子どもの貧困対策調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言（3月）
- 「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を設置（5月）
- 「働き方改革調査特別委員会」を設置（5月）

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「平和のつどい」に協力（8月）
- 「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決（9月）

【政務活動費及び議員の定数・選挙区】

- 政務活動費を減額（4月）
- 政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開（7月）
- 県議会議員の選挙区及び定数について意見募集（9月）

平成30年 三重県議会の活動10大ニュース候補（概要）

10大ニュースの候補を議会の基本取組ごとにリストアップしました。それぞれの内容は以下のとおりですので、皆さんの選定の参考にしてください。

～開かれた議会運営の実現～


1月	① 「みえ現場 de 県議会～観光・交流の推進～」を開催
<p>「みえ現場 de 県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が各地域に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする取組です。1月22日、鳥羽マリンターミナルで、「観光・交流の推進」をテーマに開催しました。</p> <p>当日は、海女や真珠など地域の観光資源に関わっている皆さんなどから地域の観光資源を生かしながら観光・交流を推進していく上での課題や県に期待することなど、さまざまなご意見をいただきました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">みえ現場 de 県議会の様子</p>	
5月	② 県議会新体制の発足（議長、副議長、正副委員長等の選出）
<p>5月に正副議長選挙を行い、議長に前田剛志議員（新政みえ、津市選出）、副議長に前野和美議員（自由民主党県議団、津市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会及び議会運営委員会の委員・正副委員長などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">議長選挙の様子</p>	
8月	③ 「みえ高校生県議会」を開催
<p>高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接議会での議論に反映していくことを目的に、8月21日に「みえ高校生県議会」を開催しました。参加者は県内の高校などから募集し、11校の生徒40人が参加しました。</p> <p>当日は、3人の高校生が交替で議長として進行役を務め、高校生が県政に対する質問を行い、県議会議員が答えました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">みえ高校生県議会の様子</p>	

10月	④ 議会中継への手話通訳導入
<p>平成28年6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」が成立し、手話による情報発信等に積極的に取り組む必要があること、また、県民を対象としたアンケート調査で、議会中継への手話通訳導入に肯定的な回答が多かったことなどを踏まえ、今年度の代表質問及び予算決算常任委員会総括質疑の中継映像に手話通訳を導入しました。</p> <div data-bbox="963 315 1509 658" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1050 674 1398 701">手話通訳を導入した議会中継</p>	


10月	⑤ 「みえ県議会出前講座」実施要領の見直し等を開始
<p>広聴広報会議では、9月に実施した「みえ県議会出前講座」において、実施要領の周知徹底不足と思われる事案が発生したことから、実施要領の見直しと再度の周知徹底を図りました。また、11月現在、実施要領に主権者教育及びキャリア教育の視点が盛り込まれていないことから、今後それらを実施要領に盛り込む方向で検討を進めています。</p> <div data-bbox="1091 1330 1331 1357" data-label="Caption"> <p>広聴広報会議の様子</p> </div>	


11月	⑥ 「みえ現場 de 県議会～ダイバーシティ社会の推進～」を開催
<p>「みえ現場 de 県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が各地域に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする取組です。11月19日、亀山市文化会館で、「ダイバーシティ社会の推進」をテーマに開催する予定です。</p> <p>当日は各分野でダイバーシティ社会の推進に関わっている方などから、ダイバーシティ社会を推進していくために必要なことなどについて、ご意見をいただく予定です。</p> <p>※投票開始日（11月22日）には実績を踏まえた内容に差し替えます。</p> <div data-bbox="948 1603 1509 1973" data-label="Complex-Block"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="948 1603 1219 1973" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1219 1603 1509 1973" data-label="List-Group"> <p>みえ現場 de 県議会「ダイバーシティ社会の推進」開催要領</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催趣旨 <p>国が掲げる「実質的な経済再生」の中で、今後の発展には不可欠なダイバーシティ社会の推進が求められています。そこで、「三層型議員制度」の一環として県民の皆さんと直接対話を行う機会として開催され、誰もが参加して意見を述べることができ、知識・技能・経験・意欲を駆使してダイバーシティ社会の推進についてご意見を伺います。</p> 日時 <p>平成30年11月19日(月) 13時30分から15時30分まで</p> 場所 <p>亀山市文化会館 2階 会議室 (亀山市宮前町10-2番地)</p> 参加対象者 <p>(1) 各分野でダイバーシティ社会の推進に関わっている方 30人 (2) 一般市民 20人 (3) 三重県議会議員 10人 (注) 議員、市民参加者、出席者数は定員を超過する場合は、抽選による参加者選定を行います。定員を超えた場合は抽選による参加者選定を行います。</p> 内容 <p>進行: 議長 (佐藤正徳議員)</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会挨拶(市長) 開会挨拶 三層型議員の説明 意見交換 閉会挨拶(市長) 主催 <p>三重県議会広聴広報会議</p> </div> </div> </div>	

～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

8月	⑦ 「平成30年版成果レポート」に関し知事に申し入れ
<p>8月9日に、予算決算常任委員会及び各行政部門別常任委員会から知事に対し、「平成30年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して申し入れを行いました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">知事への申し入れの様子</p>	

～独自の政策提言と政策立案の強化～

3月	⑧ 議会改革推進会議総会に議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討結果を報告
<p>県議会では、昨年9月に議会改革推進会議内に「議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討した結果、議会基本条例に「大規模な災害その他の緊急事態への対応」に関する基本的な規定を新設すること、また、現行の議会基本条例の活用等を検討していくことを取りまとめました。この検討結果については、本年3月に議会改革推進会議総会に報告し了承されました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">検討プロジェクト会議の様子</p>	

6月	⑨ 障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例（議員提出条例）の制定
<p>県議会では、昨年5月に特別委員会を設置し、障がい者差別の解消をめざす条例策定の必要性も含めた調査検討を行い、約1年間の検討を経て条例案を取りまとめました。この条例案は、本年6月29日の本会議において、全会一致で可決・成立しました。</p> <p>この条例は、すべての県民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。</p>	
	
<p style="text-align: right;">特別委員会の様子</p>	

6月	⑩ 大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を盛り込む議会基本条例（議員提出条例）の改正
----	--

県議会では、昨年9月に、議会改革推進会議内に「議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討した結果、議会基本条例に「大規模な災害その他の緊急事態への対応」に関する基本的な規定を新設する必要があるとの結論に至りました。その後、同会議では、パブリックコメント等を経て、議会基本条例の改正案を取りまとめました。

この条例改正案は、本年6月11日の本会議において、全会一致で可決・成立しました。



本会議での議案説明の様子

6月	⑪ 「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置し、検討を開始
----	--

議会改革の取組の一環として、議会基本条例に「大規模な災害その他の緊急事態」への対応に関する規定を盛り込んだことを受けて、本年6月に「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置しました。

検討会では、11月現在、大規模な災害等緊急事態において、県民の生命・財産を守るための議会、議員としての役割や執行部の災害対策本部との関わりなどを検討しており、今後は復旧・復興に向けた議事機関としての対応などを検討していく予定です。



検討会の様子

1月、3月、10月、12月	⑫ 「若者と政治」、「スポーツによる地域振興」、「議会改革」、「災害時における議会の役割等」をテーマにした「議員勉強会」を開催
---------------	---

「議員勉強会」は、県政を取り巻く諸課題の中から、特に必要があると思われるテーマについて、全議員を対象に外部有識者からご講演いただき議員間で知識の共有化を図る取組です。

〈開催月及びテーマ〉

1月「若者と政治」

3月「地域が育てたスポーツクラブ アルビレックス新潟」

10月「これからの議会改革に問われるもの」

12月（予定）「災害時における議会・議員の役割と取組」



議員勉強会の様子

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

7月	⑬ 紀伊半島三県議会交流会議を熊野市で開催
<p>7月30日に、三重県熊野市において、三重県、和歌山県、奈良県の三県議会による、第12回紀伊半島三県議会交流会議が開催されました。</p> <p>会議では、紀伊半島アンカールートの整備に必要な予算の確保や未事業化区間の早期事業化を三県で連携して国に要望していくことや、サイクルルートの整備やイベントの開催、情報発信などを行っていくことを合意しました。また、今後も情報共有等を行いながら、三県が連携していくことでも合意しました。</p>	



紀伊半島三県議会交流会議の様子

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

3月	⑭ 議員の定数（45人→51人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の可決
<p>本年2月に、議員提出条例案として、県内の選挙区間における地域間の均衡の調整を図るため、議員定数を45人から51人に改め、鳥羽市・志摩市選挙区（定数2人）を鳥羽市選挙区（定数1人）と志摩市選挙区（定数2人）に改めるとともに、5つの選挙区（伊勢市選挙区、尾鷲市・北牟婁郡選挙区、熊野市・南牟婁郡選挙区、多気郡選挙区、度会郡選挙区）について定数を各1人増する条例案が提出されました。</p> <p>同条例案は、本年3月22日の本会議において、賛成多数（賛成23、反対22）で可決されました。</p>	





本会議での採決の様子

4月	⑮ 政務活動費を減額
<p>議会経費縮減のため、平成29年4月1日から政務活動費を条例本則に規定する額から20%特例的に減額している取り扱いを平成31年4月29日まで継続することとしました。</p>	




本会議での議案説明の様子

7月	⑯ 「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討を開始
<p>県議会では、本年7月に、議会経費の削減について検討を行うため、議会改革推進会議内に「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>同会議では、11月に旅費の見直し案を決定するとともに、今後政務活動費等その他の議会経費削減の検討を進めています。</p>	
<div style="text-align: right;">  </div>	
<div style="text-align: right;">検討プロジェクト会議の様子</div>	

9月	⑰ 議員の定数（51人→45人）、選挙区等の見直しに関する条例（議員提出条例）の否決
<p>本年6月に、議員提出条例案として、県内の各選挙区間における一票の格差の是正を図るため、議員定数を51人から45人に改め、鳥羽市と志摩市の選挙区を合区して定数を1人減するとともに、5つの選挙区（伊勢市選挙区、尾鷲市・北牟婁郡選挙区、熊野市・南牟婁郡選挙区、多気郡選挙区、度会郡選挙区）について定数を各1人減する条例案が提出されました。</p> <p>同条例案は、本年9月14日の本会議において、賛成少数（賛成23、反対24）で否決されました。</p>	
<div style="text-align: right;">  </div>	
<div style="text-align: right;">本会議での採決の様子</div>	

～その他～

9月	⑱ 公共政策大学院からインターンシップ実習生を受け入れ
<p>県議会では、平成21年度から、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、公共政策大学院の学生をインターンシップ実習生として受け入れています。</p> <p>今年度は、京都大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習生は、県議会や県議会議員の役割等について学んだ後、正副議長等に対し、インターンシップ実習の成果として報告会において、「三重県議会の地域防災・減災対策への関与のあり方」について提案をしました。</p>	
<div style="text-align: right;">  </div>	
<div style="text-align: right;">インターンシップ実習生による報告会の様子</div>	

